

LSEG™ World-Check® One API

LSEG™ World-Check®のグローバルなデータと次世代のスクリーニング・ソフトウェアを活用したLSEG™ World-Check® One APIは、大量の情報と高度な機能を既存のワークフローや社内システムに統合し、オンボーディング、顧客本人確認(KYC)、サードパーティ・リスク・デューデリジェンスのスクリーニング・プロセスを効率化します。

World-Check One APIが選ばれる理由

- World-Checkのデータ
- 時間と労力を削減し、KYC/AMLプロセスを効率化
- World-Check Oneの最先端のスクリーニング・テクノロジー
- 二次識別子を使用して誤検出を最小限に

主な特長

- CRMシステムなどの既存のサードパーティ・システムと連携して、オンボーディング、KYC、サードパーティ・デューデリジェンスを管理
- イラン経済利益(IEI)、米国政府入札管理システム(SAM)、Media Checkなどのさまざまなオプトイン・コンテンツを提供するWorld-Checkデータを使用
- 二次識別子(生年月日など)を含めて、個別対象者の名前の保存やスクリーニングが可能

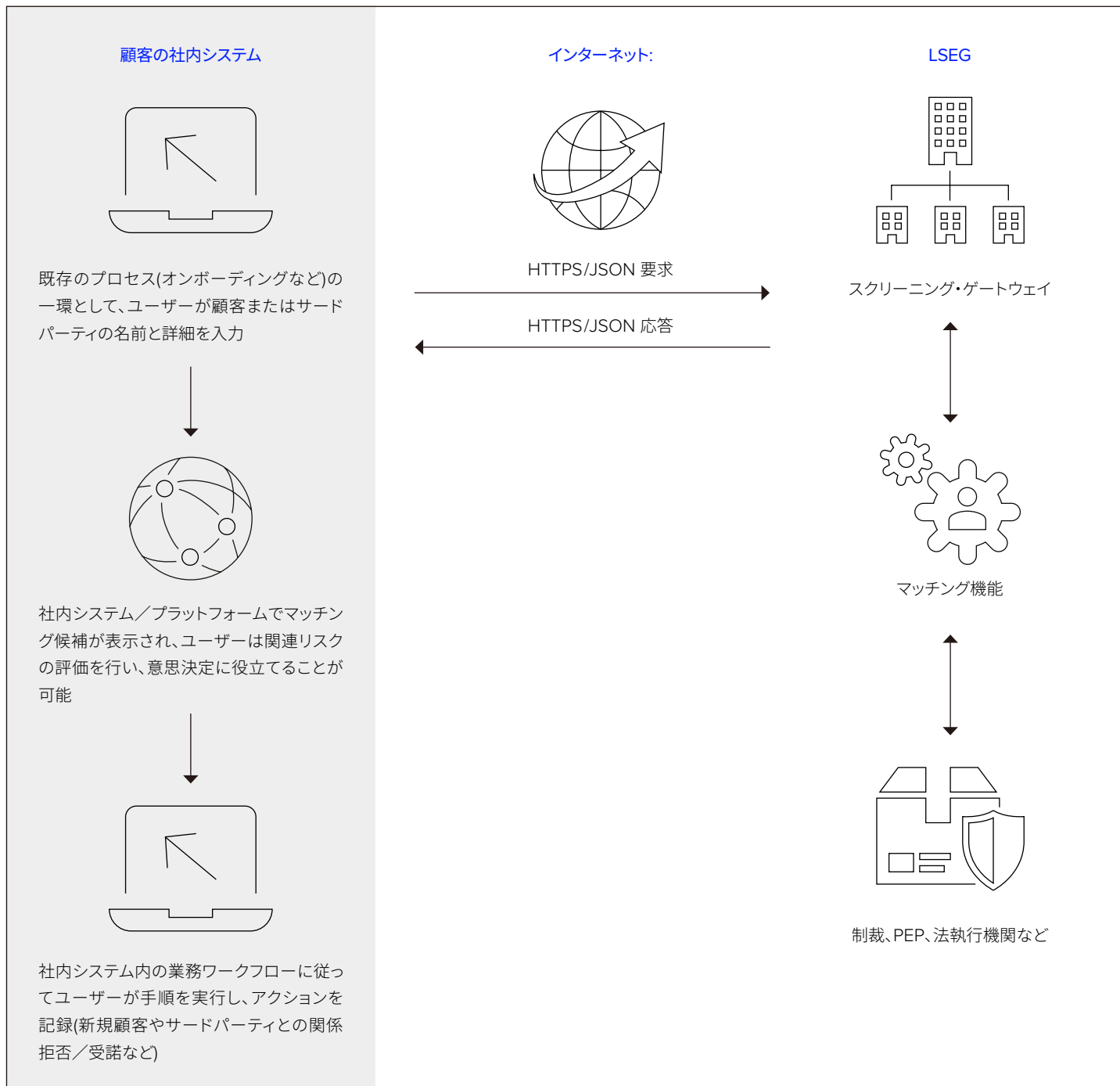
- 既存のスクリーニング対象の編集や再スクリーニングが可能
- さまざまな言語・文字セットによる名前のスクリーニングに対応(World-Check Oneのマッチング機能を使用)
- 継続的スクリーニングのオプションあり
- すべての情報ソース、または選択した情報ソース(制裁のみなど)でのスクリーニング
- 開発者にとって使いやすい設計で、迅速な統合が可能
- 認証ユーザーはWorld-Check Oneユーザー・インターフェースに無償でアクセスし、以下の操作が可能:
 - グループ、ロール、ユーザーの設定
 - グループの構成と関連設定(自動解決など)
 - 完全一致情報、マッチング修正、監査証跡の表示
 - スクリーニング対象の削除とアーカイブ
- Watchlist Screeningを使用して、スクリーニング対象の内部およびサードパーティ・リストをWorld-Check Oneプラットフォーム上でアップロード
- スクリーニングAPIリクエストが同期または非同期モードで使用可能

開発者コミュニティ

専用のAPI開発者ポータルでは、自社プラットフォームまたはCRMシステムにWorld-Check One APIを統合するにあたって必要なすべてのドキュメント、チュートリアル、クイック・スタート・ガイド、FAQを利用できます。テスト/実装フェーズから本番稼働後まで開発者フォーラムでQ&Aフォーラムを利用することができます。



インタラクション概要図



LSEGは世界有数の金融データのプロバイダーとして、世界約190か国で4万社を超える企業・機関にサービスを提供しています。業界最高水準のデータとインサイト、トレーディング・プラットフォーム、市場データ・インフラストラクチャー、オープン・テクノロジー・プラットフォームを通じて、世界の金融市場コミュニティを相互に接続し、トレーディング、投資、ウェルス・マネジメント、規制対応、マーケット・データ管理、企業リスク、金融犯罪対策などの分野での業務向上を支援します。

ウェブサイト: www.lseg.com/ja/risk-intelligence



LSEG RISK INTELLIGENCE